

2020年度コビトハウス・オレンジハウス 自己評価実施結果報告書

1) コビトハウス自己評価実施結果

調査概要

調査方法：保護者・職員に配布と郵送、無記名式質問紙調査。

実施時期：2020年11月2日～11月20日

対象人数：保護者27名 職員8名

回収率：保護者14部（51.8%）職員8部（100%）

保護者評価の結果

保護者評価の高い項目は、①子どもの活動等のスペースが十分に確保され、安全への配慮がなされているか ②職員の配置や対応は適切であるか ⑤活動プログラム工夫されているか ⑥学習支援について必要に応じて宿題のフォローなどを適切に行っているか ⑨支援の内容について丁寧な説明がなされたか ⑩日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか ⑪保護者に対して育児に関する助言等の支援が行われているか ⑫子どもや保護者からの苦情があった場合に、迅速かつ適切に対応しているか ⑬通信等で、活動概要や行事予定を子どもや保護者に対して発信しているか ⑭事業所の支援に満足しているか、であった。評価の低い項目は、⑦放課後児童クラブや児童館と交流する機会があるか ⑭この保護者アンケートを通信・ホームページ等で公開しているか ⑰非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか、であった。

なお、自由記述欄の特記すべき内容としては、以下のような回答があった。

・連絡ファイルで今日の様子を教えてもらえるのは良いです。

職員評価の結果

職員評価の高い項目は、下記のような19項目であった。②職員の配置数は適切であるか ⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか ⑧職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか ⑨アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか ⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか ⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか ⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか ⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか ⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか ⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか ⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか ⑳学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校

時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか
⑳日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか
㉑運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか
㉒保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか
㉓個人情報に十分注意しているか
㉔障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか
㉕緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか
㉖虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか

職員評価の低い項目は以下の5つであった。
㉗平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか
㉘医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか
㉙放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか
㉚父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか
㉛事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか、であった。

サービスの改善に向けて検討すべき課題

この結果を受けて職員で話し合ったところ、今後コビトハウスのサービス改善に向けて検討すべき課題として、(1)通信の発行頻度を増やすこと。(2)通信等を保護者へ配布する際には職員より説明を加えるなどし、避難訓練等の保護者と共有すべき事項を確実に共有できるようにする。以上二つが挙げられた。

今年度自己評価実施で改善したこと

保護者のアンケート項目について、医療的ケ

アが必要な児童の受け入れを行っていないため、項目から除き、新たに学習支援に関する項目を追加した。

2) オレンジハウス自己評価実施結果

調査概要

調査方法：保護者・職員に配布と郵送、無記名式質問紙調査

実施時期：2020年11月2日～11月20日

対象人数：保護者25名 職員9名

回収率：保護者10部(40%) 職員9部(100%)

保護者評価の結果

保護者評価の高い項目は、以下の3つであった。
㉜支援の内容について丁寧な説明がなされたか
㉝緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか
㉞事業所の支援に満足しているか

一方で、保護者評価の低い項目は、㉟職員は資質の向上を行うために、研修等に参加しているか
㊱放課後児童クラブや児童館と交流する機会があるか の2つであった。

なお、自由記述欄の特記すべき内容としては、以下のような回答があった。

・職員の研修参加について「わからない。知らない。受けた研修の一部でもシェアしていただけると嬉しいです」

・学校との情報共有はもう少しほしい感じがします。

・連絡帳のコメントの中で課題に触れることが少なかったのが少し残念です。

・アンケート結果の公開について「わかりません」

・通所に対して「とても楽しみにしています。ありがとうございます。」

職員評価の結果

職員評価の高い項目は、以下の7項目であった。⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか ⑯支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか ⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか ⑱学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか ⑳子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか ㉑障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか ㉒ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。

一方、職員評価の低い項目は、以下の5項目であった。③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。⑳放課後等児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。㉑父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。㉒事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。

サービスの改善に向けて検討すべき課題

この結果を受けて職員で話し合ったところ、今後オレンジハウスのサービス改善に向けて検討すべき課題として、1) 項目④「職員は資質の向上を行うため、研修等に参加しているか」について、参加した研修をお便り等で保護者に伝えていく 2) 項目⑦「放課後児童クラブや児童館と交流する機会があるか」については、児童館でのイベント参加や公共施設での交流な

どを増やしていくなどがあがった。アンケート結果をもとに改善点を伝えるほか、日々保護者への情報発信を心がけたいという意見があった。また、職員評価について無回答が散見されたため、職員への教育研修を充実させることも求められる。

今年度自己評価実施で改善したこと

保護者のアンケート項目について、医療的ケアが必要な児童の受け入れを行っていないため、項目から除き、新たに学習支援に関する項目を追加した。

3) 総合的な評価

今回の調査は、例年よりもアンケート回収率が低下している。その原因のひとつには、コロナ禍の年の、11月に行われたことが考えられる。これまでと異なる、何かと落ち着かない日常の中で、回答をお寄せいただいたことにあらためて感謝を申し上げたい。

集まることや繋がることに躊躇する日常は、今後もしばらく継続すると思われる。この状況下で、ご家庭との繋がりを保ち、さらに役立つ機会や情報をどう提供していけるか、我々はこれまで以上に問われている。

昨年と同様の表現になるが、私どもの小さな施設が、子どもたちとご家庭そして職員にとっても、より安心で安全、そして快適な居場所であるよう、引き続き努めていきたい。

なお、この文書も含めてこれまでに行った自己評価の結果は以下のURLで一般に公開されている。合同会社コビットランドホームページアドレス <http://www.kobitoland.com>「よくある質問」→「事業所の自己評価の実施状況はどうなっていますか？」

<http://www.kobitoland.com/qa/index.html>

(文責：2020年度 合同会社コビットランド広報委員会 鈴木ゆき・皆川愛菜・河内千絵)